

BATAVIA MADRIGAL SINGERS JAPAN TOUR 2026

— 待望の東京公演、ついに実現！

BATAVIA is BACK

[指揮]
Avip Priatna
アヴィップ・プリアトナ



“合唱人なら一生に一度は聴いてみたい合唱団だ！”

バタヴィア・マドリガル・シンガーズ

◆ 西東京公演 [Aプログラム]

2026 2/28 土 19:00 開演
(18:30 開場)

タクトホームこもれびGRAFAREホール
(保谷こもれびホール)

〒202-0013 東京都西東京市中町1-5-1
(西武池袋線 保谷駅南口より、徒歩約15分／バス約5分)

歓迎演奏：scatola di voce (指揮：森田悠介)

◆ 池袋公演 [Bプログラム]

2026 3/1 日 16:00 開演
(15:30 開場)

東京音楽大学100周年記念ホール

〒171-0022 東京都豊島区南池袋3丁目4-5 東京音楽大学池袋キャンパスA館
(東京メトロ副都心線 雜司が谷駅から徒歩5分／池袋駅東口より徒歩15分)

歓迎演奏：VOCE ARMONICA (指揮：黒川和伸)

※各公演の演奏曲は裏面をご覧ください

チケット料金 各公演 4,000円(全席自由) ※未就学児の入場はご遠慮ください



チケット取扱 コーラス・カンパニー <https://choruscompany.com/concert/bms2026/>



[西東京公演]
<https://teket.jp/13495/57667>



[池袋公演]
<https://teket.jp/13495/57669>



お問い合わせ コーラス・カンパニー 075-415-8686

主催：株式会社コーラス・カンパニー



後援：全日本合唱連盟、東京都合唱連盟、在京インドネシア共和国大使館



“合唱人なら一生に一度は聴いてみたい合唱団だ！”

2024年の来日公演で、日本の観客を圧倒的な歌声とパフォーマンスで魅了し、合唱が崇高な芸術であると同時に、極上のエンターテインメントであることを鮮烈に示した、あのバタヴィア・マドリガル・シンガーズが、日本に帰ってくる！

あの衝撃から2年——。

首都圏での公演が、ついに実現します！

「西東京」と「池袋」の2公演は、「選曲の魔術師」と称される音楽監督アヴィップ・ブリアトナ氏による渾身のプログラム。共通の核となる作品に加え、それぞれ趣向を凝らしたレパートリーが用意されており、2公演を続けて聴けば、バタヴィア・マドリガル・シンガーズの魅力を違った角度から楽しめることでしょう。

「一生に一度？」——いやいや、一度聴いたら、二度も三度も聴きたくなる合唱団、それがバタヴィア・マドリガル・シンガーズなのです。

◆ 西東京公演 [A プログラム]

◆ 新しい歌 *Canticum Novum*

イヴォ・アントニーニ Ivo Antognini (1963)

◆ スイングしなけれど意味ないね

It Don't Mean a Thing (If It Ain't Got That Swing)

デューク・エリントン Duke Ellington

ベン・パリー編曲 arr. Ben Parry (1965)

◆ 私が歌う理由 *The Reason I Sing*

土田豊貴 Toyotaka Tsuchida (1981)

◆ 魔人たち *Les Djinns*

ガブリエル・フォーレ Gabriel Fauré (1845 - 1924)

◆ 主よ、今こそあなたはこのしもべを

Denn er hat seinen Engeln befohlen

フェリックス・メンデルスゾーン Felix Mendelssohn (1809 - 1847)

◆ そして今は… *And So It Goes*

比利・ジョエル Billy Joel

ボブ・チルコット編曲 arr. Bob Chilcott (1955)

◆ 永遠の光 *Lux Aeterna*

エドワード・エルガー Edward Elgar (1857 - 1934)

◆ ドント・ストップ・ミー・ナウ *Don't Stop Me Now*

クイーン Queen

マーク・ブライマー編曲 arr. Mark Brymer (1957)

◆ 愛の嵐 *Love's Tempest*

エドワード・エルガー Edward Elgar (1857 - 1934)

歓迎演奏: **scatola di voce** (指揮: 森田悠介 リコーダー: 太田光子)

◆ 『ナイチンゲール』より from *The Nightingale*

8. 皇帝と死神 *The Emperor and the Death*

9. リプライズ—再び— *Reprise*

ウギス・プラウリンシュ Uģis Prauliņš 他

2公演共通

◆ 深き淵より *De Profundis*

レヴェンテ・ジェンジェシ Levente Gyöngvösi (1975)

◆ ベンゴン *Bengong*

インドネシア民謡 - マンガライ伝統歌謡
Indonesian Folksong - Manggarai Traditional

ケン・スティーヴン編曲 arr. Ken Steven (1993)

◆ 悲しみの聖母 *Stabat Mater Dolorosa*

ファタラ・A・シララヒ Vatara A. Silalahi (1994)

◆ おお、大いなる神秘よ *O Magnum Mysterium*

ケヴィン・メムリー Kevin Memley (1971)

◆ 我らは再び星々を仰いだ

We Beheld Once Again the Stars

Z・ランドル・ストロー Z. Randall Stroope (1953)

◆ アニメ「NARUTO -ナルト- 疾風伝」より

シルエット *Silhouette (from Anime Naruto: Shippuden)*

フェロ・アルディアンシャ・ステファンス編曲
arr. Fero Aldiansya Stefanus (1988)

※プログラムは都合により変更となる場合がございます。

※曲順は当日発表いたします。

◆ 池袋公演 [B プログラム]

◆ 詩篇集 *Psaltera*

イリー・マシュー・マニアーノ Ily Matthew Maniano (1988)

◆ 恋に落ちた時 *When I Fall in Love*

ヴィクター・ヤング Victor Young
カービー・ショー編曲 arr. Kirby Shaw (1941)

◆ ここには甘い音楽がある *There is Sweet Music*

マッテオ・マジストラーリ Matteo Magistrali (1980)

◆ パーミッション・トゥ・ダンス *Permission to Dance*

BTS
ロジャー・エマーソン編曲 arr. Roger Emerson (1950)

◆ 私の愛が届きますように *Let My Love Be Heard*

ジェイク・ルネスタッド Jake Runestad (1986)

◆ 16トン *Sixteen Tons*

マーク・トラヴィス Merle Travis
カービー・ショー編曲 arr. Kirby Shaw (1941)

◆ シング *Sing*

ペントナックス Pentatonix
マーク・ブライマー編曲 arr. Mark Brymer (1957)

◆ 歓喜の光よ、來たりたまえ *Hail Gladdening Light*

チャールズ・ウッド Charles Wood (1866 - 1926)

◆ ミュージカル「オズの魔法使い」より

虹のかなたに *Over the Rainbow (from Musical The Wizard of Oz)*
ロジャー・エマーソン編曲 arr. Roger Emerson (1950)

歓迎演奏: **VOCE ARMONICA** (指揮: 黒川和伸)

◆ 夜 *Nuits*

イアンス・クセナキス Iannis Xenakis 他

バタヴィア・マドリガル・シンガーズ (Batavia Madrigal Singers)

バタヴィア・マドリガル・シンガーズ (Batavia Madrigal Singers / BMS) は、1996年の創設以来、インドネシアを代表する合唱団として国内外で高い評価を築いてきた。

アヴィップ・ブリアトナの指揮のもと、クラシックや民謡、ア・カペラ、声楽交響曲まで幅広いレパートリーを披露し、卓越した音楽性と表現力を誇る。フランスのトゥール、イタリアのアレツツォ、スロベニアのマリボル、ドイツのマルクトオーバードルフ、スペインのトロサなど、国際的な合唱コンクールで数々の名誉ある賞を受賞し、世界有数の合唱団としての地位を確立。2022年にはヨーロッパ・グランプリを受賞し、国際舞台での存在感を飛躍的に高めた。

2023年のトルコ・イスタンブールでの世界合唱シンポジウム、2025年の米国・ダラスでのACDA

(全米合唱指揮者協会) 全国大会など、国際的な音楽祭への招待も多く、聴衆から高い評価を得ている。チューピング、マカオ管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、南西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団など、著名なオーケストラとの共演を通じた国際文化交流にも積極的に取り組んでいる。

アヴィップ・ブリアトナ (Avip Priatna)

アヴィップ・ブリアトナはインドネシアを代表する指揮者で、ウィーン音楽大学でオーケストラ・合唱指揮を学ぶ。レゾナンツ児童合唱団を2018年、バタヴィア・マドリガル・シンガーズを2022年に、それ世界で最も権威ある合唱コンクールとされるヨーロッパ・グランプリの優勝に導いた。世界各国の合唱舞台で最優秀指揮者賞や最優秀歌曲解釈賞を受賞し、国内外のコンクールで審査員としても活躍。インドネシアとオーストリアの音楽家の文化交流に貢献した功績により、オーストリア共和国から金等級名誉勲章を授与された。この東京公演の後には、声楽アンサンブルコンテスト全国大会(福島)での審査員、JCAユースクワイア(岡山)での指揮者としても招聘されている。

scatola di voce (指揮: 森田悠介)

2003年結成。指揮者森田悠介の下、埼玉県を拠点に様々な場所で活動中。団名はイタリア語で「声の箱」の意。各々が個性的な光を放ちながら全体でさらに大きな輝きを作り出す、色とりどりの宝石箱…そんな合唱団を目指している。合唱音楽の芸術性追及を一つのミッションとして掲げ、人々の歌唱技術向上にも熱心に取り組んでいる。

2024年第77回全日本合唱コンクール全国大会 金賞・愛媛県知事賞(部門2位)、第3回東京国際合唱コンクール 金賞を受賞。



VOCE ARMONICA (指揮: 黒川和伸)

千葉県内の中高合唱経験者を中心に2007年10月に発足。団名はイタリア語で「調和した声」の意。現在は千葉県のほか首都圏各地から約40名が集まり活動している。コンクール出場と定期演奏会の開催を活動の柱としており、これまでに全日本合唱コンクール全国大会大学職場一般部門混声合唱の部6大会連続金賞・部門第2位に贈られる新潟県知事賞(2023年)・カワイ奨励賞(2017年)・東京国際合唱コンクール混声合唱部門金賞(2019年)を受賞している。